

土佐人のルーツ「田村遺跡群」

貴重な「弥生文化」

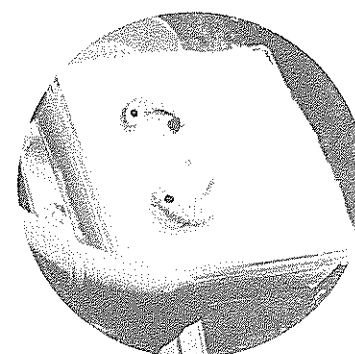
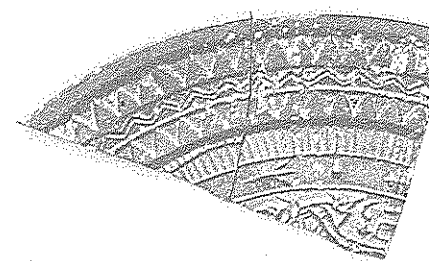
望まれる保存対策



▲田村遺跡群発掘風景

遺跡の発掘は、ほとんどが人力で細かい作業が続く。小さな土器片なども見逃さない。

後漢から輸入された青銅鏡。大陸との交流があったようだ。
 方格規矩四神鏡
 (ほうかくきむくししんきょう)

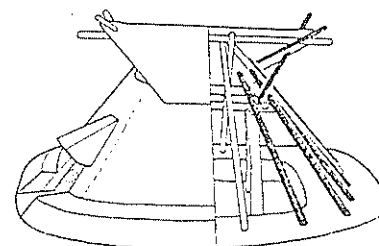


▶勾玉
 (かぎたま)
 集落の権威ある首長のアクセサリー。
 セサリィ。

高まる「保存の声」

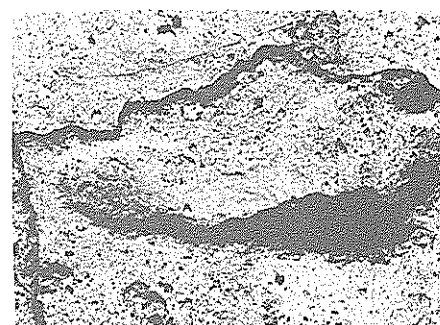
田村遺跡群の発掘調査の盛果は、土佐人のルーツを知ることができるとなっています。しかし、やっと二千年もの眠りから目覚めた弥生文化も、やがて新幹線の下に埋もれようとしています。調査結果は記録保存されますが、現場は再び地下に眠るのです。このことを嘆き惜しむ声が、最近市内はもとより県下的に大きくなっています。

「田村遺跡をなんとか保存し、



▲竪穴住居想像図

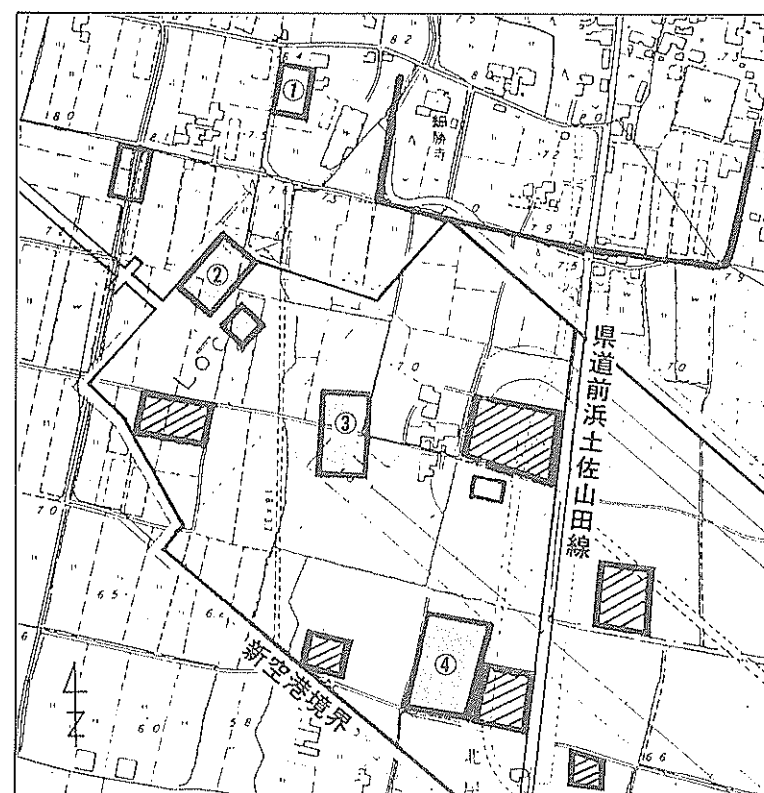
このような家で、7～8人が狩猟・農耕生活をしていたのか。



▲足跡

水田跡にくっきり残った弥生人の足跡は、我々の祖先の足跡か。

▲田村遺跡群位置図



弥生遺跡 (住居址群)	中世の遺構 (溝に囲まれた屋敷跡)
①西見当 ②横手 ③桑の本・船戸田 ④東松木	田村城外堀跡

後世に伝えよう——こんな熱意ある人々が「田村遺跡を保存する会」(乾菜美会長)を結成、運動の輪を広げています。遺跡の記録保存は、それだけでも十分価値はあるにしても、子供たちのためにも生きた勉強の教材として、この遺跡の一部を残したいものです。

「百聞は一見に如す」なのだから……。